



過去の歴史を今後も語り継ごう！



三鷹事件慰霊行動 7月15日

2025年7月15日は三鷹事件が発生してから76年になります。今年も三鷹事件が起こった7月15日に地本OB会が中心となり、三鷹事件慰霊行動を行いました。三鷹電車区(現:三鷹車両センター)の前にあるJR東労組が建立した「三鷹事件五十年碑」へ行き黙禱を捧げました。

そもそも「三鷹事件」とはどんな事件だったのでしょうか…

- ・戦後日本で発生した「三大謀略事件」の一つ
 - 三大謀略事件＝「下山事件」1949年7月5日に国鉄の下山総裁が行方不明となり、翌日に轢断死体で発見された。人員整理に反対する国労や共産党に目が向けられた。
 - 「松川事件」1949年8月17日に東北本線の松川～金谷川を走行していた列車が脱線転覆し乗務員3名が亡くなる。現場では線路の継目が外されていた。
 - ・1949年7月15日夜に、三鷹駅で発生した電車転覆事件。国鉄三鷹電車区(現:三鷹車両センター)に留置中の無人電車が突然暴走し、隣接する三鷹駅の突入し脱線転覆。駅を利用していた6名が亡くなり、20人が負傷した。⇒7月13日に国鉄第2次解雇(国鉄職員の大リストラ)が通告されている
 - ・警察やGHQ(米占領軍)は当初、共産党や労働組合活動家の計画的犯行を示唆。10名が逮捕された。⇒当時は朝鮮戦争開戦前夜であり、米軍による戦争に反対する一大勢力が共産党や国労であった
 - ・最終的には竹内景助氏の単独犯とされ死刑判決。獄中で無罪を訴えたが1967年に獄中で病死した。
- これを現在に当てはめると…
- ・台湾海峡や朝鮮半島などの東アジアで不穏な動き⇒戦争開戦前夜の流れ
 - ・当時は反戦平和を訴える労働組合は多くあったが、その運動をリードしていたのが国労
 - ⇒今は反戦平和を訴える労働組合は少なくなった中で運動をリードしてきたのがJR総連、東労組
 - ・当時は鉄道が軍事輸送や兵士輸送を担う交通手段⇒今も貨物が戦車を輸送。鉄道が戦争に使われる
 - ・朝鮮戦争により日本は特需による好景気となり、戦後日本の日本経済が発展してきた
 - ⇒今も戦争により重工業などの軍需産業は好景気。昔から戦争は金儲けの手段に使われている
- ★「えん罪・JR浦電事件」も戦争に反対する労働組合をつぶすために仕組まれた冤罪事件。
 「三大謀略事件」も「えん罪・JR浦電事件」も反戦平和を訴える団体を潰すための攻撃である！

今こそ「三大謀略事件」の歴史を学び、反戦平和を推し進める仲間と連帯しよう！